


たが

こんにちは 
議会です!!



はじめまして「たがゆいちゃん」です。よろしくね!!

- ・予算委員会報告 2
- ・3月定例議会 4
- ・町長の施政方針 5
- ・各常任委員会審議報告 6
- ・4月臨時議会 8
- ・一般質問 8議員が問う 9
- ・たがとともに 14

第125号

平成22年5月1日発行
発行多賀町議会
編集広報発行対策特別委員会

滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
〒522-0341 ☎ 0749 (48) 8126
FAX 0749 (48) 0157
有線 2 - 2011

ホームページ <http://www.tagatown.jp>
E-mail gikai@town.taga.lg.jp

どう使う
みんなのお金

予算総額 68億156万円

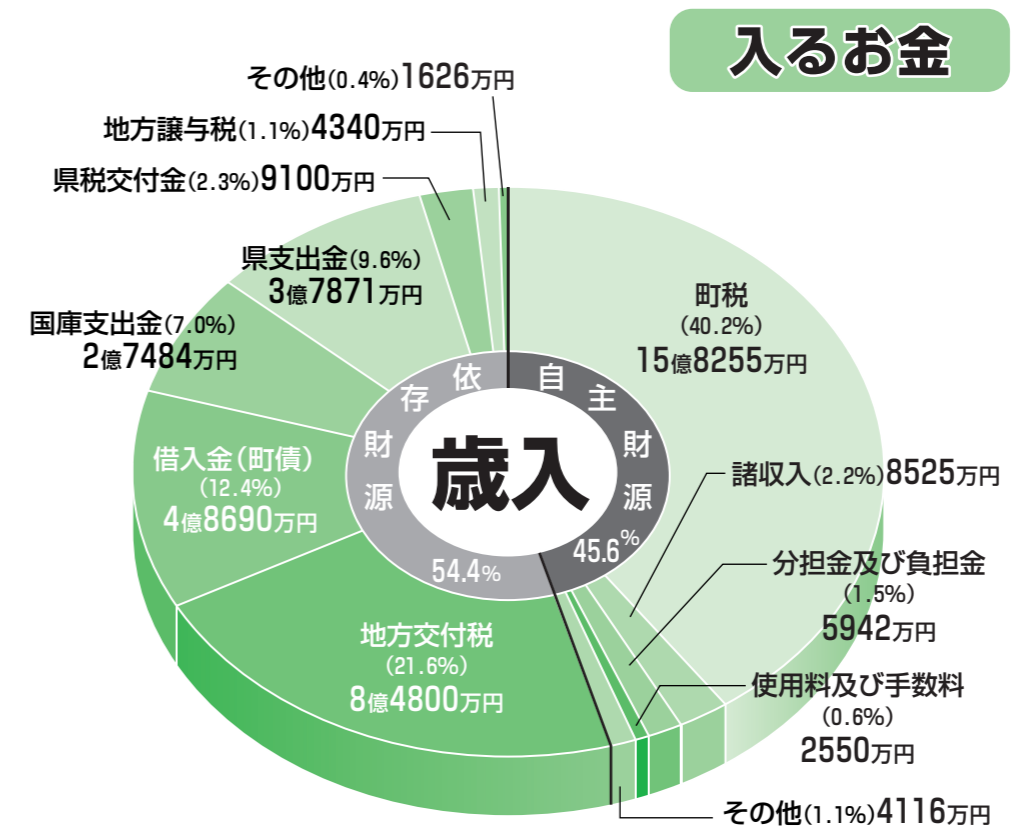
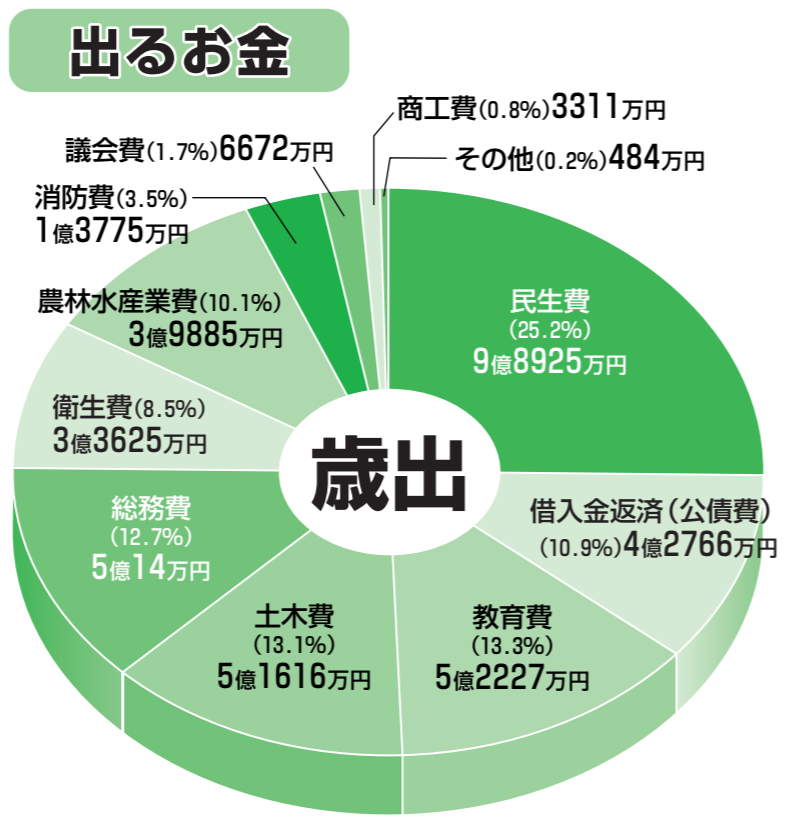
～ 明日の安心と成長のために～
上水道の施設更新 町道3路線の改良

一般会計 39億3300万円

22年度
予算を
可決

会計別予算額

区分	予算額	前年対比(%)	
一般会計	39億3300万円	10.8	
特別会計	国民健康保険	7億659万円	10.7
	老人保健	166万円	▲46.5
	介護保険	7億10万円	6.5
	後期高齢者医療	9485万円	▲13.6
	多賀町育英	456万円	15.2
	工業団地緑地維持	583万円	56.3
	住宅団地造成	322万円	▲0.8
	多賀財産区	11万円	0.0
	大滝財産区	101万円	12.5
	霊仙財産区	18万円	0.0
	下水道	4億5794万円	▲17.7
	農業集落排水	4490万円	▲3.2
	水道事業会計	8億4761万円	39.8
総合計	68億156万円	10.1	



3月11日、12日の両日、予算特別委員会に付託された平成22年度一般会計予算の審議を行い、全員賛成で原案のとおり可決すべきものとした。

- 問 子ども手当の対象者数は、現在1004人
- 答 現在1004人
- 問 保健センターの清掃業務の委託先は、(株)メンテナンスタに委託している。
- 答 (株)メンテナンスタに委託している。
- 問 学校給食センターの建設は、
- 答 国の補助金などを考ると木造による建築が最適かと思っている。
- 問 桜町地蔵尊の修復に多額の費用がかかるが文化財の指定はできないか。
- 答 一定の条件をクリアしなればならない。関係者と協議したい。
- 問 シルバー人材センターへの補助基準は、
- 答 国の補助基準が見直しされ、本町はクラウドであり、1067万円である。
- 問 特産品の補助はいつまで続けるのか。
- 答 「多賀そば」は町の特産品に育てたい。平成23年度以降は、改めて検討する。
- 問 本町を訪れる観光客に対する配慮は、
- 答 駅前「もんぜん亭」に車イス、シルバー車と電動自転車配備。自由に利用できるようにしたい。



元気いっぱいの子どもたち

- 問 集落間の防犯灯は、今年度に12基計画している。
- 答 今年度に12基計画している。
- 問 通学路の防犯灯は、多賀大堀線に7基計画している。
- 答 多賀大堀線に7基計画している。
- 問 川相出張所の管理運営は、
- 答 昨年10月1日から嘱託で対応している。
- 問 生ゴミ処理機の設置場所は、
- 答 多賀小学校をはじめ4地区に設置する。
- 問 中心市街地活性化に対する現状はどうか。
- 答 堀教授のもと先進地視察を行い、関係者が一体となって取り組んでいる。
- 問 湖東定住自立圏構想は、
- 答 共生ビジョン策定のもとに広域行政の一環として積極的に取り組んでいきたい。

主な質疑

予算特別委員会報告

中学校給食実施に 調査設計費を予算化

星空の街・あおぞらの街 全国大会 23年10月開催決定



町長
久保 久良

22年度予算と 施政方針

3月定例議会

22年度施策の 主なもの

- 子ども手当 1億4100万円
- 学校給食施設調査設計 1863万円
- 文化財保護調査費 1975万円
- 屋内多目的運動広場
人工芝工事他 1486万円
- グリーンニューデール事業 1100万円
- 太陽光発電利用による防犯灯の設置各学校 観光客のために電動自転車を導入

3月定例議会は、3月10日から24日までの15日の会期で開催した。提出議案は同意1件、条例9件、平成21年度一般会計と特別会計補正予算3件、平成22年度一般会計と特別会計予算14件。核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書1件、合計28件を原案のとおり同意・可決した。

- 第5次総合計画策定他 1692万円
- 星空の街・あおぞらの街全国大会準備経費 318万円
- 電子計算機器更新 4345万円
- 町道改良・舗装事業 2億7470万円
- 橋梁点検・修繕計画策定事業 800万円
- 獣害防止対策事業 2億54万円

地域活性化・きめ細かな 臨時交付金 5568万円

- 一般会計
歳入の主なもの
きめ細かな臨時交付金 5568万円
- 歳出の主なもの
道路改良工事(川相) 500万円
- 道路舗装工事(土田他) 290万円
- ガードレール工事(大杉) 160万円
- 役場庁舎改修工事 450万円
- 電話交換機デジタル化 930万円
- 旧佐目、萱原保育所跡地駐車場整備 1310万円
- 特別会計
水道事業会計
営業収益 297万円減額
- 川相水管橋塗装工事 400万円

条例

公平委員会委員
富之尾 富田愛子氏 61歳

同意

「歳入に見合う歳出を」
数々の行政需要と景気低迷による財源不足の中で、基金に頼ることなく健全財政に努めた。

少子化対策

- 町費による臨時講師を増員するなど教育環境の充実を図る。
- 子ども家庭応援センターの更なる充実、利用を促進する。

高齢者対策

- 高齢者の憩いの場として、駅前「もんぜん亭」4月オープン
- 「ふれ愛タクシー」の利用促進を図る。

環境対策

- 環境基本条例策定委員会から条例案を10月答申予定

地域整備・地域振興

- 町道3路線(小森池線・久徳中川原線・多賀月之木線)の道路改良工事
- 老朽管の更新、施設整備をはじめとした上水道整備

21年度補正予算

- 時間外手当支給額の変更
- 時間外勤務の代休・振替え規定
- 育児休業規定
- 介護保険料の延滞金率 14.6% 7.3%
- 砂利の採取計画の許可や変更の審査手数料
- 宮前地区携帯電話鉄塔管理の規定
- 右記の分担金徴収に係る規定
- 高齢者の駐車禁止区域の緩和
- 簡易水道を廃止し、すべて上水道に位置づける。

臨時議会

4月7日、第1回臨時議会を開催し、同意2件、承認3件、条例2件を審議し、原案のとおり同意・可決した。
また議会の役職構成を決めた。(8P参照)

同意

- 多賀財産区管理委員会 多賀 川添 利雄氏 76歳
- 久徳 森口 政二氏 66歳
- 監査委員(議会選出) 敏満寺 木村 晴彦氏 66歳

専決

65歳未満の給与所得者で公的年金などを支給している方は、公的年金等にかかる税も給与から引くことができる。

条例

町民税の課税の特例に係る法律の名称変更
国保税の租税条約に係る法律の名称変更



古民家活用「もんぜん亭」オープン

総務

旧保育所 跡地活用ほか 4000万円



整備される旧萱原保育所

3月15日開催、付託を受けた条例4件、平成21年度一般会計補正予算1件、平成22年度特別会計予算4件を審議し、可決すべきものとした。

主な質疑内容

- 問** 子ども手当の支給対象者は。
答 原則は住民基本台帳に基づいて支給する。
- 問** 庁舎の電話交換機はデジタル化するが、出張所や公民館などは。
答 着信履歴の残る電話機に変更するなど対応する。
- 問** あけぼのパークの照明器具の更新時に、エコー照明のLEDを検討しては。
答 現在のところLED照明器具は単価も高く考えていない。
- 問** 職員の休日出勤が多くなっているが。
答 現在はほとんど代休などで対応している。
- 問** 国保税の延滞金利息の軽減はあるのか。
答 地方税法で延滞金の減額措置はすでに定められている。
- 問** 国保の加入世帯数は1123世帯
答 2073人である。
- 問** 後期高齢者医療保険料の納付状況は。
答 年金などの引落しが1057人、通常納付は217人である。

閉会中の調査

1月21日、委員全員と町長、教育委員など総勢12人が、福井県越前市武生第2中学校にて、中学校給食「スクールランチ」を視察研修した。



武生第2中学校「ランチルーム」

越前市は旧武生市と旧今立町が合併した市で、給食費は1食250円、中学校7校、小学校14校でランチメニュー2種類である。
武生第2中学校は生徒数504人で17クラスである。
300席のランチルームと調理室が新設されている。

産業建設

水道事業予算 2億4200万円増額 新配水タンクと老朽管取り替え



仏ヶ後上水道施設

3月16日開催、付託を受けた条例3件、平成21年度一般会計と特別会計補正予算3件、平成22年度特別会計予算4件を審議し、原案のとおり可決すべきものとした。

主な質疑内容

- 問** 本町の水源は浅井戸であり、濁りなどを考慮し、深井戸にすべきではないのか。
答 深く掘れば水が確保できるとは限らない。
- 問** 河内宮前の携帯電話基地の規模は。
答 土地は多賀町が購入。アンテナは高さ14.9m。町の負担は150万円である。
- 問** 老朽管の全長は2770m、斎場線は補助対象、梨ノ木線は単独工事で行う。
問 高取山ふれあい公園の利用状況は。
答 学校関係のやまのこ事業では22年度1300人の予定である。
- 問** 下水道と農業集落排水事業の普及率は。
答 下水道 85・9%
農業集落排水事業
菅原地区 45・7%
佐目地区 46・5%
- 問** 芹谷ダム移転地の借入金の返済が迫っているが対応は。
答 ダム事業の方向が決まらないため、県への協議も難しいが、早急に対応するよう努力する。

閉会中の調査

2月15日、建設課所管の道路事業について、町道改良3路線の説明を受けた。



改良が待たれる 町道中川原久徳線

町道久徳中川原線
問 道路の幅員、歩道は。
答 幅員は2.75m、2車線で歩道はない。
路肩は0.75mである。
四手川橋長は21.5m
曲線は3カ所で当初案より直線的である。
町道小森池線
財政状況を考慮しながら継続的に進めていく。

町道多賀月之木線
問 歩道はどつたるのか。
答 歩道は動橋まで片側の安全を図るため、早期着工する。

役職改選により新体制でスタート

臨時議会 4月7日

議長 谷川利治 副議長 北川久二



議長 谷川 利治

就任のあいさつ

伝統と名譽ある議会議長を務めさせていただき、こととなりました。文字どおりの浅学非才の身でありますが、全身全霊を傾けて責務を果たしていく覚悟です。現在、本町では過疎化による人口減少、平野部による及ぶ鳥獣の被害、景気後退に伴う町税の減収による財政悪化など解決しなければならぬ種々の課題が山積してまいります。とりわけ喫緊の課題解決を図らなければならぬのは、芦谷ダム水没地域の皆様への補償と地域振興であります。県当局との交渉も大詰めの段階であると聞きま

すが、あくまでも永年のご苦労に対する正当な補償がされるべきであると考えます。これらの事案解決に向けては、町当局とともに手を携えていかなければならないと考えております。また、議会本来の行政運営に対するチェック機能や政策の提言、住民皆様と行政との橋渡しなども果たしていかなばなりません。最近の社会状況にも対応できる議会運営についても研鑽を重ねる必要があると考えています。今後とも町民皆様のご支援とご指導をお願い申し上げます。

議長	谷川 利治	広報発行対策特別委員会 委員長	川添 武史
副議長	北川 久二	副委員長	本多 重男
総務常任委員会 委員長	土田 雅孝	委員	藤本 一夫
副委員長	本多 重男	委員	大橋 富造
委員	谷川 利治	彦根愛知犬上広域行政組合 湖東広域衛生管理組合 議会議員	谷川 利治
委員	木村 晴彦	彦根市犬上郡営林組合 議会議員	北川 久二
委員	藤本 一夫	農業委員会委員	富永 勉
委員	小林 元嗣	多賀町監査委員	木村 晴彦
産業建設常任委員会 委員長	山口 久男	社会福祉協議会評議員	土田 一善
副委員長	大橋 富造	図書館協議会委員	土田 一善
委員	土田 一善	博物館協議会委員	土田 一善
委員	川添 武史	ダム建設対策特別委員会 委員長	藤本 一夫
委員	川添 武史	副委員長	小林 元嗣
委員	北川 久二	委員	議長を除く全員
委員	富永 勉		

議会を傍聴して下さい
次の定例議会は6月です。
一般質問は初日です。

議会事務局 職員人事異動
4月1日付けで議会事務局職員の異動がありました。
大矢 勝 議会事務局長（会計管理者）
大道吉兵衛 3月31日退職（議会事務局長）

きめ細かな地域医療を 医療体制の充実を 図っていく

—町長—

藤本 一夫 議員



町政のここがききたい

藤本議員 土田地区で開業以来、実に18年もの永きにわたる地域医療にご尽力いただいた大辻医院が昨年3月で閉院された。身近かなところで、いつでも必要な医療サービスが提供されることは、地域住民の切なる願いであり、町として地域医療提供体制はどのように考えているのか町長に伺う。

町長 高齢化率が28%を超える本町においては、住民が安心して暮らしていく上で、医療は欠かすことができない重要な役割を担っている。医師の確保は喫緊の課題であり、条件が整った段階で、医師を招へいなどを行って町内の医療体制の充実を図っていく。

一般質問

町有財産を明らかに システム管理する

—総務課長—



川添議員

平成23年度から公会計制度の導入によりバランスシートのほか3表の作成が義務付けられている。この制度により町所有のあらゆる資産価値を把握する必要があらうと思つ。本町の体制はどれくらい進んでいるのか。

川添 武史 議員

総務課長

公有財産、土地建物の資産評価、減価償却等の正確さを期するために新年度予算に公有財産台帳の整備に必要なシステムを計上して、取り組んでいく。

まちづくりに町職員の協働は可能か 地域との連携を密に

—町長—

川添議員

住民の要望は多様化している。町単独で地域活動を推進していくためには住民と行政がともに知恵を出し合い良きパートナーとして連携することが必要である。住民と職員が同じ立場で協働による自治会の活動に参画、支援することがまちづくりの発展になると思つが町長の見解は。町長 地域の人々が積極的にまちづくりに関わっていただき、未来に希望が持てるまちづくりを推進するには地域と職員のパートナーシップを密にすることが大変重要と考えている。先進地の事例や近隣市町の状況も見極わめて進めていきたい。



多賀区が整備している駅前花だん



今後の町道小森池線は 早期実施に努力する

—町長—

富永 勉 議員

富永議員
町道小森池線は3分の2が完成し、残り3分の1の800mである。当初設計では多額の費用がかかることから法線変更になった。許可の手続きが終えていけば工事は進めるべきである。
町長の見解は。
町長
来年度以降も引き続き工事を実施するとともに、町の財政状況を考慮し、早期に補助事業で実施するよう努力する。



町道 小森池線

高取山の整備は 施設整備を考える

—町長—

小林 元嗣 議員



然に囲まれた癒しの空間を体験してもらうことで自然の大切さを学ぶとともに、自然を活かす取り組みにつなげたいと考えている。
一定の施設整備も必要と考え、補助制度の中で整備を進めていく。

小林議員

昨年から彦根市と周辺4町で定住自立圏構想の策定に向けた取り組みが進められている。
本町では高取山ふれあい公園の自然を利用した整備を進めていくべきである。

子どもからお年寄りが楽しめる施設、若者たちが利用しやすい魅力の持てる整備を進めてはどうか。

町長

本町は自然環境の豊かなまちであり、その大自

あいさつ運動の推進は 家庭や地域で

—教育長—

小林議員

子どもと教育をめぐる社会状況の変化が著しい。子どもたちに生きる力をしっかりと身につけさせたい。

コミュニケーションはまず、あいさつから、人とのかわりあいを実感する「あいさつ運動」の推進の現状と今後の取り組みについて教育長に問う。

教育長

本町では、平成20年度から年3回あいさつ強調月間として、各教育現場であいさつ運動を取り組んでいる。

今後も町広報、有線などで呼びかけを行うとともに、家庭や地域で推進していく。



恵まれた自然環境「高取山ふれあい公園」

ささゆりクーポン券の 成果は 活性化の一因に

—町長—

土田 一善 議員



土田(一)議員

ささゆりクーポン券の成果と今後の実施予定は。地産地消と販路拡大が図れる活性化対策は。

町長

景気対策の臨時対策交付金を活用してプレミアムつき商品券を発行し活性化を進めてきた。

商工会に150万円の補助金を出し、商品券は9月4日に完売した。取り扱い店の感想はおおむねよかったが、今の



奨励品種のにんじん

プロッコーリなどにも町の助成はできないか。

今後も検討

農林商工課長

予算の範囲内でこれらの作物を含め支援する方向で検討していく。

交通安全標識は

土田(一)議員

町内の安全施設整備はまだまだ不十分だ。

交通標識の設置は必要であり、地域住民が知恵を出し合った標識や看板

の設置は可能か。

許可が必要

建設課長

通行規制標識などは公安委員会の管轄である。

勝手に取り付けると違反になり罰則、罰金がかかる。

子ども議会の開催は

土田(一)議員

子ども議会は全国的に実施されている。

多賀町の取り組みは。

一般公募で
夏休み開催

学校教育課長

子どもたちに多賀町の将来に対する提案などをいただき、町の仕事、議会の仕組みを理解してもらいたい。

小中学校の生徒から、議長と議員の13人を募集して、夏休みに実施したい。

家屋の耐震対策は 倒壊する可能性が 高いと診断

—企画課長—

北川 久二 議員



北川議員

阪神淡路大震災から15年が経過している。

最近、海外でも大きな地震が相ついで発生している。

今日までに耐震診断を受けられた件数は。

企画課長

平成15年から実施、過去7年間の合計は78戸となっている。

診断の結果、倒壊する可能性が高いと診断された家屋は75戸である。

バリアフリーの促進を 総点検を実施

—総務課長—

北川議員
公共施設は、不特定多数の人が利用する。各施設のバリアフリーへの取り組み状況はどうか。

総務課長
社会全体のバリアフリー化の推進を図っていくことは、重要な施策と認識している。
やさしいまちづくりを推進する観点から、公共施設のバリアフリーのために総点検、福祉対策整備計画を立て、必要な整備を行ってきた。
今後もその都度整備に努める。

**安心できる歩道を
標識の点検や設置等で**
北川議員
歩行者も自転車も、お互いが安心して通行できる歩道が望まれるが、双方が通行可能な歩道の現状と標識の設置状況について問う。
標識未設置には速やかな対応が望まれるが。

建設課長
町内には、自転車専用道路はないが、歩行者や自転車の通行量も考慮し標識などの設置を検討したい。



自転車共用歩道

避難場所の再点検を 住民の安心を守る

—町長—



大橋議員
思わぬ地域に集中して雨が降るいわゆるゲリラ豪雨災害で低地での浸水

大橋 富造議員
や予想もしないところで土砂崩れや生活排水路などの災害に対し、自主避難場所までのルートの安全性はどうか。
災害備蓄品の維持管理情報伝達や避難についてどのような対応を考えているのか。

町長
各集落に点検を依頼し、避難場所への安全なルート確保や機能の充実した施設整備など各集落と協議する。
情報伝達手段は有線で対応し、全国の被災の教訓から早い段階で避難勧告などを判断したい。

大橋議員
若手職員を将来のまちづくりで反映させる試みとして、先進地視察をさせ、情報を得る機会を与えてはどうか。
**積極的に
参加を促す**
町長
創意と工夫を凝しながら、先進地視察など積極的に参加できるよう努め、職員の資質向上に結び付けたい。

若手職員に 研修を



洪水ハザードマップ

司書教諭の 専任配置を

大橋議員

幅広い言語活動を通して言語力を育成する取り組みの中で、司書教諭として各学校に専任者の配置はできないか。
学校図書蔵書冊数は確保できているか。

法律により困難

教育長

司書教諭は教諭をもって充てるとなっており、専任化は、法律の規定によりできない。
標準冊数はクラス数に応じて決められている。廃棄により現在の蔵書数は標準を下まわっている。
冊数を守るべく予算措置を講じていきたい。

水道基本料金の引き下げを 受益者負担はお願いしたい

—公営企業課長—



山口議員
一般家庭の水道最低基本水量は10m³であり、上下水道と合わせると最低料金は2520円である。高齢者世帯や1人暮らしの家庭では、10m³も使わない。
水道事業会計は黒字決算であり、基本水量を見直し、基本料金を引き下げるべきである。

公営企業課長
水道事業は独立採算で運営している。
施設の老朽化など今年も既設老朽管の布設替え、

町長の公約 子ども医療費の助成は 子ども手当の動向を見て

—町長—

山口 久男議員
新設配水地など更新を計画している。
今後10〜15年かけて順次施設の更新を図り、皆さんに安心して飲んでいただける水道施設整備を行いたい。
今後水道料金の改定も検討していきたい。

山口議員
「子ども手当」が施行され、町長の公約である子ども医療費助成の拡充を見送った。
経済的負担の軽減、少子化対策、子育て支援として中学校までの医療費助成の拡充は必要でないのか。

町長
就学前の子どもに対し、自己負担、所得制度なしの独自の制度を実施している。
公約で義務教育終了までの医療費助成の拡充を掲げている。
子どもをもつ家庭の経済的負担の軽減、少子化対策、子育て支援の一環と思っている。
今後、「子ども手当」制度の動向を見ながら検討したい。



対応が待たれる水没地区移転地

借入金の返済は ふれ愛タクシー の改善を

山口議員

芦谷ダム水没地区、集団移転地借入金の返済が今年度末に迫っている。県との協議はどうなっているのか。

更なる協議を

町長

元金の返済期限は22年度末である。
借り入れは町であり、債務は多賀町にある。
原因者である県に対して更なる協議、努力していきたい。

公共交通全体の あり方を協議中

山口議員

「ふれ愛タクシー」の利用状況は。
料金の見なおしと対象者、運行経路の拡大などの改善を。

公共交通全体の あり方を協議中

企画課長

今年に入り利用者は増加し、141人であった。
料金は現行で、ほかは湖東定住自立圏構想の中で検討する。

多賀町と協働

多賀町は、歴史豊かな自然の町と思います。

私は、散歩が好きなので、神社、仏閣の周りをめぐりながら、和風の町並みをゆっくり歩いてみようと思います。

10年くらい前、滋賀工場に赴任してありました。今回は、その時やり残したことをもう少し深く

考えながら、「世界から信頼されるグローバル工場としてのさらなる発展を」と考えております。

参天製薬は、基本理念の「天機に参与する」に従い「世界の参天」を掲げ進んでおります。

地域の皆さんには、工場見学などを通じて、我々が造る製品をもっと知ってもらいたいです。

工場長 竹谷 浩一



参天製薬(株)の皆さん・ウォーキング

たがとも尼

参天製薬株式会社 滋賀工場

多賀町に住んで

多賀町内に住んでよかったですと感じるのは、「多賀少年野球クラブ」という、とても強豪で全国クラスのチームにめぐりあえたことです。

このチームに息子が入団し、6年間お世話になったのですが、強いだけではなく野球以外にも色々な皆さんのことを、子ども以上にわたしが学びました。

また、忘れてはならな



元気いっぱい すてきなチーム

このチームに息子が入団し、6年間お世話になったのですが、強いだけではなく野球以外にも色々な皆さんのことを、子ども以上にわたしが学びました。

このチームに息子が入団し、6年間お世話になったのですが、強いだけではなく野球以外にも色々な皆さんのことを、子ども以上にわたしが学びました。

また、忘れてはならな

編集後記

当委員会も新たなメンバーで広報紙づくりを担当します。

従来の紙面づくりを継承し、「わかりやすく、読みやすく」を基本に親しんでいただければという努めたいと思っています。

今回から「たがとも尼」をテーマに町内企業からの話題などをお届けします。

今回は、参天製薬様に原稿をお願いしました。

みなさんからのご意見、ご感想をお待ちしております。(川添記)

- 広報発行対策特別委員会
- 委員長 川添武史
 - 副委員長 本多重男
 - 委員 藤本一夫
 - 委員 大橋富造